

令和5年1月4日
愛知東農業協同組合

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

J A 愛知東の第10次中期3か年計画では、「活気と魅力ある奥三河農業の発展を目指します。」「協同の力で支え合う豊かなくらしを組合員とともに創造します。」「地域農業の発展を支える持続可能なJ A 経営を組合員とともに実現します。」の3つの基本方針を掲げ、未来永劫存続できるJ A、農業と地域社会に根差したJ Aを目指し、経営理念である《未来に残そう水と緑》を念頭に、組合員との対話を通じ、意見・要望をJ A 運営に反映しながら、組合員の営農とくらしを守るために取り組んで参ります。

1 お客さまへの最適な商品提供

お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等を踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定いたします。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

2 お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案いたします。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- (2) お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供いたします。【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

3 利益相反の適切な管理

お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理いたします。

【原則3本文および(注)】

4 お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客様本位の業務運営を実現するための態勢を構築いたします。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】